会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	社会教育管理費
補助単独の別	単独

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		2,170	2,196		2,197			2,197	27
財源内訳	国								0
	県								0
	市債								0
	その他		227						0
	一般財源	2,170	1,969		2,197			2,197	27

事業概要	社会教育活動の指導・助言を行う社会教育指導員1名の人件費及び社会教育に関する助言を行う15名の社会教育委員会等にかかる報酬等経費	今年度見直し事 項	
事業目的	生涯学習課内に社会教育指導員を配置し、また社会教育関係機関及び学識経験者等からなる社会教育委員会で幅広く意見を求め、本市の社会教育の充実を図る。		
現状と背景	近年の少子化・核家族化・メディアの発達などにより現代社会をとりまく環境は大きく変化している。	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	成人式記念事業
補助単独の別	単独

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		401	401		401			401	0
財源内訳	国								0
	県								0
	市債								0
	その他								0
	一般財源	401	401		401			401	0

事業概要	新成人が大人として自立する意識をもつことを目的として、式典を開催し祝福する。 日　程:平成24年1月8日(日) 会　場:文化ホール 対象者:平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれ	今年度見直し事 項	
事業目的	大人の仲間入りをした新成人の門出を祝う。		
現状と背景	開催日が成人の日の前日の日曜日。 出席率　平成19年度74%・平成20年度70%・平成21年度76%	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	視聴覚教育振興費
補助単独の別	単独

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	要求段階 追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		43	32		32			32	▲ 11
財源内訳	国								0
	県								0
	市債								0
	その他								0
	一般財源	43	32		32			32	▲ 11

事業概要	鳥取県西部の市町村で構成する西部広域行政管理組合の教育部門にある西部視聴覚ライブラリーにおける視聴覚教材(ビデオ・16ミリフィルムなど)の貸出及び管理	今年度見直し事 項	
事業目的	人権、生活安全、保健衛生、環境問題等の教育映像の貸出環境を整備し、学校教育機関並びに広く市民への貸出を実施することにより、市内の視聴覚教育の充実を図ることを目的とする。		
現状と背景	(平成21年度貸出実績) 貸出回数　閲覧人数 ビデオ　50回　1,068人	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	文化財保護事業
補助単独の別	補助

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		71	70		70			70	▲ 1
財源内訳	国								0
	県	11			4			4	▲ 7
	市債								0
	その他								0
	一般財源	60	70		66			66	6

事業概要	市内の文化財保護について諮問する文化財保護審議会を開催し、文化財の指定、保存などに向けた総合的な調査活動や意見聴取を行う。 また、市民を対象に文化財を現地で紹介する「文化財巡り」を開催する。	今年度見直し事 項	
事業目的	市内に存する重要な文化財を保存、活用することにより、市民文化の向上に資する。		
現状と背景	前回(第3次)の市文化財指定から6年経過しており、第4次指定に向けた指定候補物件の調査・審議を進める。 第1次指定(S62.3) 11件 第2次指定(H4.6) 7件 第3次指定(H14.7) 7件 平成22年11月現在 22件	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	市美術展覧会事業
補助単独の別	補助

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	要求段階 追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		774	767		767			767	▲ 7
財源内訳	国								0
	県	387			383			383	▲ 4
	市債								0
	その他	387			384			384	▲ 3
	一般財源	0	767		0			0	0

事業概要	美術作品の発表と鑑賞の機会をつくり、市の美術・文化の振興を図るため、絵画、工芸、彫刻、書道、写真の5部門に市民から美術作品を募集し、優れた作品を展示する「市美術展覧会」を開催する。当展覧会開催のための審査員報酬、会場費などの経費を予算化している。	今年度見直し事 項	
事業目的	広く市民から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、作品の発表と鑑賞の機会をつくり、市の美術振興を図る。		
現状と背景	平成23年度で開催回数42回となる。 例年、出品点数　約200点、入場者数　約1000人。	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	市文化協会助成事業
補助単独の別	補助

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	要求段階 追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		725	650		650			650	▲ 75
財源内訳	国								0
	県	362			325			325	▲ 37
	市債								0
	その他								0
	一般財源	363	650		325			325	▲ 38

事業概要	文化活動に広く市民に参加してもらうため、市文化協会加盟団体が主催する市内での発表会、展覧会等の開催費の一部を文化協会を通じて助成する。 補助限度額　1団体につき25千円	今年度見直し事 項	
事業目的	市内に活動の拠点を置く文化団体が自主的に行う文化活動を補助することにより、文化の創造を促進するとともに、市民に鑑賞する機会を提供する。		
現状と背景	実績(協会加盟団体／補助事業実施団体／事業入場者) H20　38団体／26団体／約5700人 H21　36団体／27団体／約2900人 H22　34団体(H22.10月末現在) 補助限度額(1団体あたり) H16　36千円 H17　30千円 H18～　30千円(財源内訳:市補助金25千円、協会費5千円)	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	生涯学習講座開設事業
補助単独の別	補助

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		275	275		275			275	0
財源内訳	国								0
	県	137			137			137	0
	市債								0
	その他								0
	一般財源	138	275		138			138	0

事業概要	市内の教養の向上、健康の増進、文化の振興などを目的に各地区公民館における社会教育講座及び大学公開講座を開催、それにかかる講師謝礼、会場経費を予算化している。	今年度見直し事 項	
事業目的	様々な分野の事柄について地域住民が学習できる機会をより多く提供する。		
現状と背景	各地区で地域住民の要望に沿った社会教育講座を開催しており、年間3,000人以上が受講している。また鳥取大学・放送大学等の大学公開講座を年4回実施している。	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	教育総務課
事業名	青少年芸術鑑賞事業
補助単独の別	補助(基金・交付金)

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		2,355	2,355		2,355			2,355	0
財源内訳	国								0
	県	1,177			1,177			1,177	0
	市債								0
	その他	1,178			1,178			1,178	0
	一般財源	0	2,355		0			0	0

事業概要	中学校芸術鑑賞教室(中学生を対象)や青少年劇場巡回公演(小学生を対象)を開催する。小学生3年生以上は毎年、中学生は3年間で2回、生の芸術に触れる機会を創出している。	今年度見直し事 項	
事業目的	優れた舞台芸術に間近に触れる機会を提供することで、豊かな情操を培い、芸術文化の振興を図る。		
現状と背景	平成22年度は「鍵富弦太郎　弦楽四重奏コンサート」、人形劇団クラルテによる「あらしによるに」、劇団野ばらによる「あした　あさって　しあさって」を開催。	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	親子読み聞かせ教室事業
補助単独の別	補助

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	要求段階 追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		522	498		498			498	▲ 24
財源内訳	国								0
	県	261			249			249	▲ 12
	市債								0
	その他								0
	一般財源	261	498		249			249	▲ 12

事業概要	絵本等の親子読み聞かせ教室の開催を支援することにより、絵本等をとおして親子のふれあいを深めるとともに、子どもたちの豊かな心を育てていくことを目的とし、市内の読み聞かせ団体で構成する読み聞かせ団体連絡協議会が市民活動センター等で開催する読み聞かせ教室の運営に対する補助金を予算化している。 実施日：毎週水曜日、毎月第1・2・3土曜日	今年度見直し事 項	
事業目的	絵本等の親子読み聞かせ教室の開催を支援することにより、絵本等をとおして親子のふれあいを深めるとともに、子どもたちの豊かな心を育てていくことを目的とする。		
現状と背景	近年はメディアの急速な発達と普及により、幼児期からテレビやゲームに触れる可能性が高くなった。このことは親子のふれあいやコミュニケーションの時間を奪い、この時期の子どもに必要な言葉や心の発達を妨げる結果となっている。親子読み聞かせ教室　平成21年度　83回実施。	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	教育総務課
事業名	適応指導教室「やすらぎルーム」運営事業
補助単独の別	補助

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		4,432	4,437		6,655			6,655	2,223
財源内訳	国								0
	県	700	462		462			462	▲ 238
	市債								0
	その他								0
	一般財源	3,732	3,975		6,193			6,193	2,461

事業概要	集団生活への適応性や家庭環境等に問題があり学校へ通うことができない児童生徒に対する受け皿として、適応指導教室「やすらぎルーム」を境港市青少年育成センター内に開設し、集団生活への適応、情緒の安定、基本的生活習慣の改善等のための相談・適応指導などを行い、児童生徒の自立を支援する。	今年度見直し事 項	
事業目的	不登校児童・生徒の居場所を確保し、相談・適応指導等により自立支援を行うことで、学校への復帰を促し不登校の解消を目指す。		
現状と背景	新たな不登校児童生徒を出さないことを重点目標に掲げ、各校で取組んで頂いているが、家庭環境の変化等により不登校になってしまう児童生徒もいる。「やすらぎルーム」ではそのような子どもが学校に通えるよう学校と連携をとりながらすすめている。	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	市の花普及事業
補助単独の別	補助

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		57	52		52			52	▲ 5
財源内訳	国								0
	県	28			26			26	▲ 2
	市債								0
	その他								0
	一般財源	29	52		26			26	▲ 3

事業概要	市の花である「菊」を展示し、広く市民に鑑賞の機会を提供することを目的とし、展示のための会場費等の経費を予算化している。 菊展示の委託先：境港菊の会	今年度見直し事 項	
事業目的	市民に市の花を観賞する機会を提供するとともに市の花の普及に努める。		
現状と背景	以前は境中央公園や夢みなとタワーで行っていたが、より多くの市民に鑑賞してもらうため、平成20年度以降は市民会館市民広場で行っている。	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	文化振興事業
補助単独の別	補助

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		1,803	1,809		1,809			1,809	6
財源内訳	国								0
	県	599			632			632	33
	市債								0
	その他	1,204	544		1,177			1,177	▲ 27
	一般財源	0	1,265		0			0	0

事業概要	市民の音楽活動等の文化活動の振興を目的に、市民が参加できるコンサート等を開催する経費を予算化している。 ・境港市ピアノコンクール 市内の小学生から高校生までが参加するピアノコンクールの開催 ・サロンコンサート 毎月1回、文化ホールの喫茶コーナーで行う地元の演奏会によるコンサートの開催 ・シンフォニー少年少女合唱団 市内の小学生から高校生で構成する合唱団の育成 毎週土曜日の練習のほか、年1回定期演奏会を開催	今年度見直し事 項	さかいみなと音楽祭は廃止
事業目的	市民が参加できる文化事業を開催することにより、市の文化振興の発展を図る。		
現状と背景	いずれの事業も10年以上継続して開催しており、多くの市民が参加している。	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	鳥取県社会教育協議会負担金
補助単独の別	単独

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	要求段階 追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		36	36		36			36	0
財源内訳	国								0
	県								0
	市債								0
	その他								0
	一般財源	36	36		36			36	0

事業概要	鳥取県内の社会教育を振興するため県が設置する鳥取県社会教育協議会に対する県内市町村の負担金を予算化している。	今年度見直し事 項	
事業目的	構成団体(市町村教育委員会及び社会教育関係団体)相互の連絡提携を図るとともに、鳥取県公民館連合会と連携して、鳥取県の社会教育の振興発展に寄与することを目的とする。		
現状と背景	平成19年度までは他の協議会等への負担金補助金が主な事業であったため、予算の見直しを行った。その結果、平成20年度から支出項目を主に鳥取県公民館連合会交付金及び自主事業費とし、市町村負担金を削減している。	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	社会教育事務人件費
補助単独の別	単独

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		35,425	45,109		45,109			45,109	9,684
財源内訳	国								0
	県								0
	市債								0
	その他								0
	一般財源	35,425	45,109		45,109			45,109	9,684

事業概要	教育委員会事務局職員（社会教育部門）6人の人件費（給与・手当・共済費）である。	今年度見直し事 項	
事業目的	教育委員会事務局職員（社会教育部門）6人の人件費（給与・手当・共済費）		
現状と背景	教育委員会事務局職員（社会教育部門）6人の人件費（給与・手当・共済費）	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	鳥取県社会教育委員連絡協議会負担金
補助単独の別	

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		15	15		15			15	0
財源内訳	国								0
	県								0
	市債								0
	その他								0
	一般財源	15	15		15			15	0

事業概要	社会教育法に基づく社会教育委員の職務を全うするため、県市町村社会教育委員相互の連絡協調をはかり、もって県内の社会教育の振興に寄与することを目的とする鳥取県社会教育委員連絡協議会に対する負担金を予算化している。	今年度見直し事 項	
事業目的	社会教育法に基づく社会教育委員の職務を全うするため、県市町村社会教育委員相互の連絡協調をはかり、もって県内の社会教育の振興に寄与することを目的とする。		
現状と背景	この会は県及び市町村に設置された社会教育委員をもって組織され、情報収集・情報交換、研修会等をとおして各市町村の社会教育の振興を図っている。	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	青少年育成境港市民会議補助金
補助単独の別	単独

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		335	335		335			335	0
財源内訳	国								0
	県								0
	市債								0
	その他								0
	一般財源	335	335		335			335	0

事業概要	学校教育及び社会教育関係者等で構成される青少年育成境港市民会議を支援し、健全な青少年の育成を推進することを目的とし、青少年育成境港市民会議に対する補助金を予算化している。 青少年育成境港市民会議の事業例は下記の通り。 青少年意見発表会及び青少年育成講演会各1回開催。あいさつ運動・防犯パトロールの実施。	今年度見直し事 項	
事業目的	学校教育及び社会教育関係者等で構成される青少年育成境港市民会議を支援し、健全な青少年の育成を推進する。		
現状と背景	近年の情報メディアの急速な発達・普及により、青少年をとりまく環境は大きく変化している。そのため学校・家庭・地域が連携して青少年の健全育成に取り組んでいかなければならない。 会員数55名。	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	西部広域行政管理組合負担金(視聴覚ライブラリー)
補助単独の別	

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	要求段階 追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		535	535		533			533	▲ 2
財源内訳	国								0
	県								0
	市債								0
	その他								0
	一般財源	535	535		533			533	▲ 2

事業概要	鳥取県西部地区の市町村で構成する西部広域行政管理組合の教育部門である西部視聴覚ライブラリーの人件費、教材購入費等の経費に対する境港市の負担金を予算化している。	今年度見直し事 項	
事業目的	人権、生活安全、保健衛生、環境問題等の教育映像の貸出環境を整備し、学校教育機関並びに広く市民への貸出を実施することにより、市内の視聴覚教育の充実を図ることを目的とする。		
現状と背景	(平成21年度貸出実績) 貸出回数　閲覧人数 ビデオ　50回　1,068人	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	ブラスフェスタ運営補助金
補助単独の別	単独

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		376	376		287			287	▲ 89
財源内訳	国								0
	県	188			143			143	▲ 45
	市債								0
	その他	188			144			144	▲ 44
	一般財源	0	376		0			0	0

事業概要	市内の小学校から高校、一般までの金管バンドが参加するコンサート(ブラスフェスタin境港)の運営費を補助する。	今年度見直し事 項	
事業目的	金管バンドを通して、様々な年代の演奏者の交流と音楽活動の振興を図るとともに、市民に広く鑑賞の機会を提供する。		
現状と背景	平成17年度までは(財)境港市文化福祉財団の自主事業、平成18年度は市主催事業、平成19年度からはブラスフェスタin境港実行委員会の主催事業として開催している。 市補助金のほか、(財)ごうぎん鳥取文化振興財団助成金の申請を予定。 平成21年度実績:出演者　269人、来場者　842人	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	青少年育成センター管理費
補助単独の別	

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		2,231	2,248		33			33	▲ 2,198
財源内訳	国								0
	県								0
	市債								0
	その他								0
	一般財源	2,231	2,248		33			33	▲ 2,198

事業概要	青少年育成センター職員1名の人件費及び青少年育成センター運営協議会委員報酬	今年度見直し事 項	
事業目的	青少年育成センターに職員を1名置き、青少年の健全育成を図る。		
現状と背景	平成18年度から平成21年度まで青少年育成センターの所管を教育総務課に移し、育成センター内に「やすらぎルーム」を設置していたが、育成センターとしての機能は十分ではなかった。	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	次世代鑑賞者育成事業
補助単独の別	補助

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	要求段階 追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		0	100		100			100	100
財源内訳	国								0
	県	0	100		100			100	100
	市債								0
	その他								0
	一般財源	0	0		0			0	0

事業概要	未就学児を対象とした作品鑑賞、創造体験または公演鑑賞の機会を提供する団体の活動を支援する。	今年度見直し事 項	
事業目的	芸術・文化活動者のすそ野拡大・次世代鑑賞者の育成		
現状と背景	H16から県の事業として行われてきたが、子育て家庭へのさらなる周知を図るため、H22から窓口が市町村へ移行した。	その他	

会計	10	一 般 会 計
款	10	教 育 費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	学校支援地域本部事業
補助単独の別	補助

		前年度 ①	要求段階 当初要求 ②	追加要求等	財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③－①
事業費		0	1,492		0			0	0
財源内訳	国								0
	県		994						0
	市債								0
	その他								0
	一般財源	0	498		0			0	0

事業概要	教育委員会事務局内に「学校支援地域本部」を設置し、地域コーディネーターが小中学校10校と学校ボランティアとの調整を図りながら、学校の要望に応じて様々な教育活動を支援する。	今年度見直し事 項	
事業目的	教員が本来の職務に専念できるよう業務負担の軽減化を図るとともに、地域の方々に学校を支援してもらうことにより学校教育への関心を高め、地域の教育力を活性化し、学校・地域の連携体制の構築をめざす。		
現状と背景	近年こどもを取り巻く環境が大きく変化するとともに、家庭や地域の教育力が低下しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校・家庭及び地域住民等が連携し地域全体で教育に取り組む体制づくりをめざす必要がある。本市では学校支援地域本部事業を平成20年度から22年度まで実施し学校と地域の連携を図ってきたので、23年度からも途切れることなく継続して進めていきたい。	その他	